

| | | | | |
|---------------|--|--------------------|--|--|
| アジア型経営 | | 王 効平、岸本 千佳司 | | |
|---------------|--|--------------------|--|--|

| | | | | | |
|------|-----|-------|-----|------|---------|
| 配当年次 | 2年次 | 配当学期 | 2学期 | 科目区分 | エグゼクティブ |
| 単位数 | 2単位 | 必修・選択 | 選択 | 授業形態 | 講義 |

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

| 学位授与方針における能力 | | 到達目標 | |
|--------------|----------|------|--|
| 知識・理解 | 理論知識 | ◎ | アジア型経営の理解に必要な理論的専門知識を修得する。 |
| | 実践知識 | ○ | アジアビジネス展開に当たって現地の異文化や制度に関する知識を習得する。 |
| 技能 | 分析解決技能 | ○ | アジアビジネス展開に関わる諸問題を体系的に理解し、自ら課題を発見してその分析と解決策の提示ができる。 |
| | 実務技能 | | |
| | 新規事業技能 | △ | アジア地域の特殊性を踏まえた新事業展開に必要とされる技能を修得する。 |
| 態度 | 倫理観態度 | | |
| | 企業変革態度 | ○ | アジアビジネス展開にあたって必要とされる挑戦的姿勢と変革する能力を修得する。 |
| | 地域リーダー態度 | | |
| | 国際協調態度 | ○ | アジアビジネス展開に必要とされる相互理解の態度と協調的姿勢を修得する。 |

※ ◎: 強く関連 ○: 関連 △: やや関連

※ 2013年度以降入学生が対象です。

アジア型経営

授業の概要

この20数年、日本経済の対東アジア依存度が大幅に高まってきた。東アジア域内でも特に市場としての中華地域（中国大陸、台湾、香港・マカオ、シンガポール）、ビジネスパートナーとしての中華系資本（中華地域の資本に、地域外の華僑・華人系資本を加えたもの）との結び付きが日増しに深まってきている。こうした現実に鑑み、本講義では日本企業の対東アジアビジネス展開に必要とされる現地系企業の経営様式（企業制度と経営システムの特徴、競争優位性など）に関する体系的知識と分析視点を学ぶことにウェイトをおいている。前半においては儒教文化の影響下にある中華系企業全般の経営様式の学習にウェイトをおき、後半では個別資本グループの特殊性の学習に時間を割く。複数のケースを取り上げる予定。常に比較経営の視点を意識し、日本企業との比較を心掛けていく。

教科書

手作り資料を配布していく予定

参考書

大橋英夫、丸川智雄著 『中国企業のルネサンス』 岩波書店
 王効平、尹大栄、米山茂美著 『日中韓企業の経営比較』 税務経理協会
 王効平著 『華人系資本の企業経営』 日本経済評論社
 末廣昭著 『ファミリービジネス論』 名古屋大学出版会
 末廣昭著 『新興アジア経済論』 岩波書店

岸本、王が執筆した関係調査報告資料

授業計画・内容

- ① イントロダクション：なぜ東アジアか？
【儒教資本主義】【開発独裁】【キャッチアップ型工業化】
- ② 東アジア、特に儒教文化圏の財閥企業の位置づけ
【韓国系財閥】【中華系財閥（含【華人系財閥】）】
- ③ 東アジア財閥系企業の経営様式Ⅰ
【企業経営と文化】【企業統治構造】【事業継承】
- ④ 東アジア財閥系企業の経営様式Ⅱ
【経営の内部特性】【戦略立案】【組織特性】
- ⑤ 東アジア財閥系企業の経営様式Ⅲ
【管理システム】【財務構造】
- ⑥ 「ネットワーク重視型」の特性とは
【資本関係】【取引関係】
- ⑦ 事例研究
【ゲスト講師】【アジアビジネス実践の成敗経験学習】
- ⑧ 事例紹介を踏まえたグループ討議
【ゲスト講師の講義内容と問題提起を踏まえた討論会】

- ⑨台湾系企業の経営制度
【オーナー経営者】 【鶏頭牛後】
- ⑩台湾系企業の経営システム
【意思決定】 【帰属意識】 【管理システム】
- ⑪台湾系企業の産業クラスターと創業・新事業支援体制
【分業構造】 【企業間ネットワーク】 【イノベーションシステム】
- ⑫台湾系企業の生産システム構築に見られるの競争優位
【受託製造業 (OEM/ODM)】 【Global Value Chain(GVC)】
- ⑬台湾系企業の事例紹介 A
【TSMC】 【競争優位に関する比較】
- ⑭台湾系企業の事例紹介 B
【日系企業との提携事例】 【日台提携による Win-Win 関係作り】
- ⑮総合討論

成績評価の方法 課題レポートの提出状況・完成度 50%、討議参加の積極さ 50%

事前・事後学習の内容 必読資料を配布する
参考文献を各自入手して活用すること

履修上の注意

- ◆ 関係資料を支援フォルダーに事前アップの予定。
- ◆ 「国際経営」、「中華圏の経営思想」を講義履修済みが望ましい
- ◆ 数回課題を課すが、グループ発表をも行う予定

担当者からのメッセージ

- ◆ 課題提出期限の厳守
- ◆ 積極的な発言、質疑を期待

キーワード